

NEWS RELEASE

報道関係者 各位

2017年5月24日
国立大学法人 東京農工大学

ヒューマンサイエンスとロボットサイエンスの最前線を紹介する 「ヒトとロボット 未来のカタチ 測る・調べる・動かす」展を開催

国立大学法人東京農工大学科学博物館では、企画展「ヒトとロボット 未来のカタチ 測る・調べる・動かす」を開催致します。

第4次産業革命を牽引すると期待されているロボット工学は、我が国の得意分野のひとつです。本学においても、機械系・情報系・電気系等の多様な研究者が協力して研究に取り組んでいます。ロボット研究は、実はヒトの研究に他なりません。ヒトがどのように知覚し、考え、動くのか？このプロセスをさまざまな視点から解き明かし、ヒトとロボットが共生する未来の元気な社会を創造していきます。

本展では、ヒトの知能と知能ロボット研究を「測る」「調べる」「動かす」の3つのセクションに分け、それぞれでの最新の研究成果を展示します。参加・体験型の展示や、ロボットのデモンストレーションなどを用い、大学における最先端の研究をわかりやすく紹介しています。



1) 実施概要：

- 会期：2017年5月27日(土)～9月9日(土)
 - 会場：東京農工大学科学博物館 1階企画展示室
東京都小金井市中町 2-24-16 東京農工大学小金井キャンパス内
(JR 中央線「東小金井駅南口」徒歩 10分、「武蔵小金井駅」徒歩約 20分)
 - 入館料：無料
 - 開館時間：10:00～16:30(入館は 16:00 まで)
 - 休館日：日曜、月曜、祝日および 5月31日(水)、8月9日(水)、15日(火)、16日(水)
※5月31日(水)は、「3) プレス向け内覧会」は実施。
- 企画展 URL：<http://web.tuat.ac.jp/~museum/hitorobo>
ツイッターアカウント：<https://twitter.com/hitorobo>

2) 対象者：

先端科学に興味を持つ中高生、産学連携に関心のある企業、先端技術に感度の高い一般の方

3) プレス向け内覧会：

日時：5月31日(水) 16:00～18:00 会場：科学博物館企画展示室 予約：不要
参加教員：ジェンチャン・ベンチャー准教授(工学部機械システム工学科・企画展実行委員長)、田中聡久准教授(工学部電気電子工学科)

4) 展示機器デモンストレーション：

5月27日(土)、6月17日(土)、7月22日(土)、8月3日(木)、8月4日(金)、8月19日(土)、8月26日(土)
各日 13:00～15:00 (6月17日のみ 12:40～13:40、14:40～15:40)
会場：科学博物館企画展示室 予約：不要

5) 研究者によるサイエンストーク：

日時：8月26日(土) 14:00～16:00 会場：科学博物館3階講堂 予約：不要(先着 80名)
登壇者：水内郁夫准教授、ジェンチャン・ベンチャー准教授(ともに工学部機械システム工学科)ら

6) 主な展示品：

「測る」セクション：スポーツやリハビリに対応した高速モーションキャプチャー（体験型、図1）、汎用ゲーム機の技術を使用したモーションキャプチャー（体験型）など

「調べる」セクション：没入型VR（仮想現実）を使って、失われた体の一部を思い通りに動かすリハビリ研究（図2）、ペンタブレットによるヒトの動きの解析、筋骨格モデルを使用した人間運動機能解析など

「動かす」セクション：世界初の筋骨格型ヒューマノイド「小太郎」（図3）、空気圧人口筋肉を持ち、跳躍できるロボット「Bird Leg」、ヒトの動きをサポートするアシストスーツ、感情や動作が理解できるロボットなど

図1：スポーツに対応したモーションキャプチャーシステム



図3：筋骨格型ヒューマノイド「小太郎」

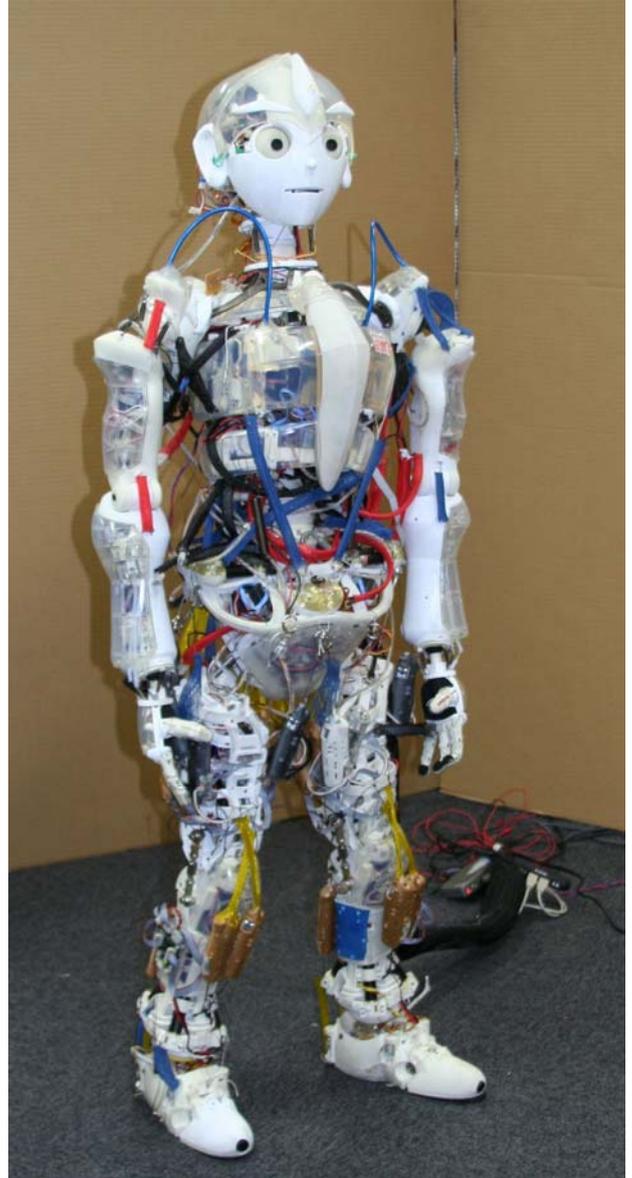


図2：没入型VR

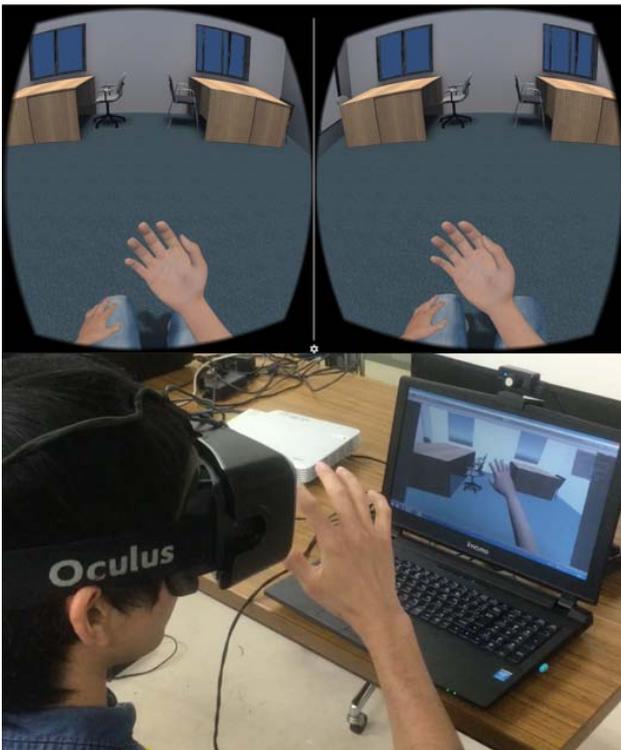


図4：モノを手渡す、ヒトの動作を理解するロボット



◆ 本展に関する問い合わせ ◆

東京農工大学科学博物館 特任助教
飯野 孝浩 (いいの たかひろ)
TEL : 042-388-7161 E-mail : t-iino@cc.tuat.ac.jp